



地域協働学校運営協議会だより

第6回（10月12日）運営協議会会議の概要です。

■日時 令和2年10月12日（月）15時30分～16時50分

■場所 戸塚第三小学校 会議室

■議事

1 代表挨拶

子供たちはコロナ禍で満足に外に出て自由に身体を動かすのも難しい状況だと思う。学校内では密を避け、きちんとした指導ができていますが、学校外でも自由に元気よく活動していけるように手助けができればよいと思っている。

2 校長より

- ・今年度も半年が過ぎようとしている。7月より通常登校になり、子供たちも通常の教育活動に戻りつつある。
- ・3年生以上は飛沫防止ガードを引き続き机に設置している。最初は見づらかったようだが、今は子供たちは違和感なく落ち着いて学校生活を送っている。本当はガードを外したかったが、状況的にまだ外せないのもうしばらく様子を見ていく。気が緩まないようにしなければいけないと考えている。
- ・学年ごとに保護者会を開催した。→別紙資料参照
- ・通知表「あゆみ」の改訂について→別紙資料参照

3 各支援部の活動について

<安全安心支援部>

- ・前回の議題に出た工事現場付近での子供たちの登下校については、委員の方が連絡してくださり、戸塚警察が現場確認に来てくださった。学校でも子供たちに指導した。
- ・宿泊施設の通学路に面した喫煙所における喫煙については、新宿区ごみ減量リサイクル課まち美化係に対応をお願いした。喫煙防止条例には該当しないので指導することはできないが、管理会社とオーナーの協力で、通学時間帯（8～9時）には利用禁止の掲示していただけた。

<学習支援部>

- ・単学年ならばゲストティーチャーに来ていただいてもよいことや、交通機関を使わなければ校外に出てよいという区の方針に沿い、ジャイアンツによる投げ方教室や、自転車シミュレーター体験を実施した。外部の方から専門的な話を聞き、知識

や経験が増えることは良いと思う。今後も外部の方のお力をお借りする時はお声をかけるのでご協力いただきたい。

<環境美化支援部>

- ・95周年に向けて一人一鉢の花を植えよう取り組みを進めている。花のプレゼント企画に応募している。鉢は図工の図工専科の教諭と協力をして作れたらよいと思う。

《質疑応答》

（委員）毎年雅楽の授業をしているが、コロナ禍の中でできることを相談している。授業の最後に子供たちが「越天楽」を吹けるようになっているのが、とてもよい。

（委員）鑑賞だけならできると思うが、体験までだと難しいのではないかな。

（副校長）打楽器は先日、東京交響楽団の方にゲストティーチャーにお越しいただいた。音楽の教員もリコーダーと鍵盤ハーモニカをどのように指導するか検討中である。

（委員）ライブハウスなどの営業が再開されている。舞台と観客の間にシートを設けるなどしているが、そのような工夫でできないかな。

（副校長）茶道会館での茶道体験と、オリンピックのメダリストの特別授業を計画中である。

4 学校の近況報告（副校長）

2学期以降の学校の様子を、ホームページ「戸三日記」を見せながら振り返る。

（3年担任）9月5日。糸取り体験で蚕を育てた。200匹の蚕がいたが、繭が三十数個しかできず、なかなか難しかった。繭を取るために、中の蚕の命について、子供たちと白熱した話し合いができた。糸を取るのは難しかった。

（6年担任）9月15日。外国語の授業で、行ってみたい国について紹介した。休校期間中に行った世界の国調べの学習を生かすなどして、いろいろな動詞を用いて紹介した。英語の学習は、中学・高校とつながっていくので、少しでも戸三小で英語を頑張ってきたんだと思えたら良い。

(1年担任) 9月25日。1年生には初めてなわ跳びをする子供もいて、初めは涙目になっていたが、だんだんと跳べるようになり、今では前跳びができるようになった。跳べるようになったのが嬉しいようで、休み時間に跳んでいる子供がいる。今は、鉄腕アトムの曲でリズムなわ跳びをしている。

(5年担任) 10月3日。バケツ稲を、今年は屋上ではなく1階に置いていたので、育つ様子がよく見られた。無農薬なので、バケツの中にたくさんの種類の虫がいて、田んぼが1つの生態系だと実感できてよかった。ふだん食べている米は、農薬を使っている虫のいない田んぼで作られているので食料生産のことや生態系のことを考える題材にしていきたい。

《質疑応答》

(委員) 英語の学習がすごく興味深い。そのような学習をすると、自信がつくと思う。楽しそう。

(校長) 外国語の学習では、社会と併せてあって、学習が深まると思う。

(委員) 他教科と関連させて授業をできるのが、担任の先生の強みだと思う。子供たちにも影響が大きいし、しっかりと吸収される。ちゃんと発音させているのが素晴らしい。

(委員) 全員リレーみたいな授業ができないか。体育が得意という子供たちに何か思い出作りをさせてあげたい。

(校長) 体育授業公開で、リズムなわ跳びなどのなわ跳びを使った活動とリレーを、学年ごとに分けて実施する。

(委員) 「子ども見守り隊」の方々が、子供たちの近くで見守りができないでいる。コロナ禍だから、今は遠くから見守ることにしている。

7 その他

・教育支援課 社会教育指導員より

今年度はいろいろな活動が例年どおりできない中、外部の方も少しずつ来校されて、教科書だけではできない学習や体験を、先生方が工夫して子供たちと共に教育活動を展開しているところが素晴らしい。これから感染状況が緩やかになっていけばよいが、厳しくなる可能性もあり、地域の方々のお力添えを得て乗り切っていただけたらありがたい。ご意見やご要望をお聞きして持ち帰り、教育委員会もできるかぎりのことをしていきたい。

次回 第7回地域協働学校運営協議会

11月30日(月)15時～ 戸三小 体育館